



第15回公共建築賞（行政施設部門）受賞
「シティホールプラザ アオーレ長岡」

- 所在地：新潟県長岡市大手通1丁目4番地10
- 事業主：長岡市
- 設計者：(株)隈研吾建築都市設計事務所
- 施工者：大成・福田・中越・池田シティホール
建築工事特定共同企業体

Contents

年頭挨拶	【営繕部長】	2
事業紹介			
佐渡公共職業安定所・十日町公共職業安定所の耐震改修等整備	【営繕部 整備課】	3
十日町病院の建て替え事業について	【新潟県 土木部都市局営繕課】	4
トピックス			
シティホールプラザ アオーレ長岡	【新潟県 長岡市】	5
「公共建築月間におけるイベント」について	【営繕部, 金沢営繕事務所】	6
平成28年度 営繕工事安全連絡会議（新潟地区）を開催	【営繕部 保全指導・監督室】	7
平成28年度 国土交通省国土技術研究会に参加	【営繕部 計画課】	8
保全だより			
ポリ塩化ビフェニル（PCB）廃棄物の期限内処理に向けて	【営繕部 技術・評価課, 保全指導・監督室】	9
情報ホットライン			
公共建築に関する情報発信	【営繕部 保全指導・監督室】	10

年頭挨拶

北陸地方整備局営繕部長

高 久 信 彦

あけましておめでとうございます。日頃より営繕行政の推進にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

また、「えいぜん通信@北陸」をご覧いただき、誠にありがとうございます。

官庁施設は、国民共通の財産であり、良質な施設の整備はもちろんのこと、長期にわたる良質なストックとして社会経済活動を支えなければなりません。

このため、営繕部では、良質な施設整備と、官庁施設の点検、修繕、改修、更新等の施設保全の計画的かつ着実な実施が必要と考え、施設整備と保全指導の2つを根幹的業務と位置づけています。

特に、施設整備では、喫緊の課題となっている防災・減災対策、老朽化対策及び木材利用の推進を図ることとし、佐渡海上保安署、石川運輸支局、十日町簡易裁判所等の更新事業において、その取組みを進めます。

加えて、一昨年より、改正品確法の適切な運用を推進するために、業界団体や地方公共団体との意見交換会を積極的に行い、施設整備の過程における様々な課題等を把握させていただき、これらを踏まえ、営繕事業において、実勢価格と現場実態を的確に反映した適正な予定価格の設定、適切な工期設定、工事書類作成の効率化、施工条件の変更に伴う適切な設計変更など、円滑な施工確保対策に取り組んでおります。

さらに、新潟県、富山県及び石川県のご協力のもと、各県市町村の営繕担当の皆様と、これらの取り組みについて情報共有と意見交換を行い、改正品確法の適切な運用の普及・支援に努めております。

なお、営繕部では、「公共建築相談窓口」を設置し、各発注機関等からの個別の相談に対応しておりますので、是非ご活用くださるようお願いいたします。

さて、昨年6月に、国土交通大臣から社会資本整備審議会に「官公庁施設整備における発注者のあり方について」の諮問がなされ、1月20日に答申が出たところです。今後、関係する皆様と情報共有や意見交換を進め、よりよい施設整備に向けた仕組みづくりに努めて参ります。

営繕部では、今年も引き続き、「えいぜん通信@北陸」を通じ、施設整備や保全、施工現場の課題等に関するお役立ち情報を適時提供させていただきますので、引き続きご覧いただけますよう、よろしくお願いいたします。

最後になりますが、今後とも、皆様からのご協力、ご支援を賜りますことをお願いするとともに、皆様にとって実り多き年となりますことをお祈り申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。



佐渡公共職業安定所・十日町公共職業安定所の耐震改修等整備(平成28年度完成施設)

(営繕部 整備課)

1 耐震改修等経緯

○ 佐渡公共職業安定所、十日町公共職業安定所とも、総合耐震診断の結果により、構造体の耐震性能を満たしていないことが判明したため、耐震改修を行いました。

また、両施設とも築後40数年を経過し、内外部の老朽化が著しいため、合わせて改修を行いました。

2 耐震改修等整備内容

○ 佐渡公共職業安定所、十日町公共職業安定所の耐震改修方式は、外壁部分を鉄骨ブレースにより補強を行い、GIS（構造耐震指標）

1.0以上を確保しました。

また、佐渡公共職業安定所については、内部改修として、主にトイレ部分のリニューアル改修を行いました。十日町公共職業安定所の外部改修としては、外窓の改修を行いました。

3 改修工事で考慮した内容

○ 今回の耐震改修工事は、執務を継続しながらの改修工事であるため、執務に大きな支障（騒音・振動・粉塵等）をきたさないように、低騒音・低振動・無粉塵でコンクリートを穿孔できるコアドリルを採用しました。

また、公共職業安定所は、来庁者の多い公共施設であるため、来庁者の安全と安全に通行できる通路の確保について、後方監視カメラ搭載ショベルカーや2色のLEDが点滅するソーラー式工事灯を採用しました。

今回の改修工事は、受発注者の創意工夫で、執務環境への影響低減や来庁者の安全確保が出来ました。

平成28年12月完成



佐渡公共職業安定所

■施設概要■

- 構造・規模 鉄筋コンクリート造
地上2階建
延べ面積 428㎡
- 施工者 近藤組・伊藤建設
経常建設共同企業体

平成29年1月完成



十日町公共職業安定所

■施設概要■

- 構造・規模 鉄筋コンクリート造
地上2階建
延べ面積 588㎡
- 施工者 (株)高橋工務店

十日町病院の建て替え事業について

(新潟県 土木部都市局営繕課)

1. 事業の概要

新潟県魚沼医療圏において、主に急性期を中心とした二次救急を担う十日町病院は、地域の医療に欠かせない地域中核病院として運営しています。現在、施設の老朽化等に伴い、建て替え工事を進めています。

建て替えの手順は、病院機能を維持しながら、①第1工区(新・外来棟部分)建設→②旧・外来棟部分解体→③第2工区(新・病棟部分)建設→④旧・病棟部分解体→⑤外構整備のステップで行う計画で、平成28年3月に第1工区が完了し、機能移転後、同年5月に新・外来棟部分での診療を開始しました。



第1工区(新・外来棟部分)外観(H28. 3)



完成模型



免震装置

2. 施設の概要

所在地：新潟県十日町市高山32番地9他
 延床面積：24,062.69㎡
 構造規模：プレキャストプレストレストコンクリート造(PCa・PC)
 免震構造、地上7階、地下1階
 病床数：275床
 工期：1工区：H26年5月～H28年3月
 旧外来棟解体・2工区：H28年3月～
 設計監理：山下設計・ワシズ設計 設計共同体
 施工者：熊谷・水倉・協和 特定共同企業体

3. 構造計画の主な特徴

構造上の特徴として、本施設は、災害拠点病院として災害時の応急対応などが効果的に発揮できる医療機能を要求される建物であることから、免震構造(積層ゴム・ダンパー)を採用しています。

また、上部躯体は、品質の確保、工期の短縮、ロングスパンによる平面計画の自由度などに優れるPCa・PC造を採用しており、工場製作した柱梁部材を、現場にてPC鋼棒・PCケーブルで張力を導入しながら架構しています。

高度で複雑な機能を有する病院施設であることに加え、同一敷地内で病院を通常通り運営しながらの施工のため、1、2工区に工事を分けて、ほぼ建物中央で接続する形式を採用しました。さらに狭隘な敷地、豪雪地であるため、施工にあたり、仮設・架設計画の工夫や周辺環境への配慮のほか、安全管理にも十分注意を払いながら進める必要があります。

現在は、旧・外来棟の解体工事を進めており、解体完了後、第2工区(新・病棟)の工事に移行していく予定です。



PCa・PC部材架設状況(第1工区)



PCa梁建込み



PCケーブル張力導入

シティホールプラザ アオーレ長岡

(新潟県 長岡市)

1. 施設概要

市役所、市民交流スペース、アリーナが一体となった複合施設として平成24年4月オープン。ガラスの大屋根をかけた「ナカドマ」は、雪国の民家で見られる玄関(土間)を連想させ、誰もが気軽に立ち寄り、活動できる場になっています。雪国における全天候型の公共空間の在り方や官民協働での運営をベースとした建築物として、平成28年11月11日公共建築賞(行政施設部門)を受賞しました。



ナカドマにかかるガラスの大屋根

2. 事業概要

所在地 : 新潟県長岡市大手通1丁目4番地10

構造 : RC造、S造

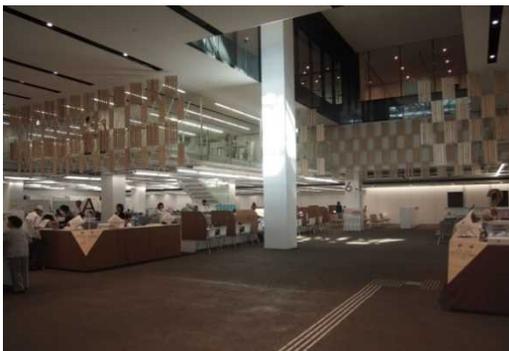
階数 : 地上4階・地下1階

延床面積 : 35,485.08㎡

基本設計 : 平成20年2月～平成21年2月

実施設計 : 平成21年2月～平成21年11月

工事期間 : 平成21年11月～平成24年2月



東棟1階 市役所総合窓口

3. 施設の特徴

(1) 市民が主役のシティホール

ナカドマでは、市民が積極的に企画したイベントが催され、賑わいを見せています。延床約35,000㎡の半分以上のスペースを、市民交流スペースとして、市民の自由な活動に利用いただいております。

(2) 官民協働運営

NPO法人が常駐し、貸館業務、イベント企画や利用者サポートなどの運用を、市民視点で行い、修繕等のハード管理は行政が行う運営体制を確立しております。

(3) アクセスの良さと、24時間開放

JR長岡駅と直結しており、雨や雪の日でも、傘をささずに施設に入れます。また、3階デッキテラスとナカドマは24時間開放しており、通勤・通学の通り道にもなっております。



市民主導のイベント(高校生ラーメン選手権)



結婚式「ハレの場」としての利用

11月11日は公共建築の日

「公共建築月間におけるイベント」について

(営繕部・金沢営繕事務所)

【佐渡市総合防災訓練でのパネル展示】

日時：平成28年11月6日(日) 9:00～12:30

場所：おんでこドーム(佐渡市両津湊)

■目的

- ・佐渡海上保安署の移転に関する周知
- ・公共建築の日の周知

■展示パネル内容

- ・佐渡海上保安署の移転事業関連
移転の案内、建物イメージパース
津波避難階段、防災対策 他
- ・公共建築の日(11月11日)の紹介
- ・新潟地震 他 延べ10枚

■来場者：約50名

※これらのパネルは、防災訓練終了後、あいぽーと佐渡にて11/18まで引き続き展示しました。

(営繕部)



おんでこドームでの展示状況



あいぽーと佐渡での展示状況

【第15回公共建築賞優秀賞受賞記念シンポジウム】

日時：平成28年11月24日(木) 13:00～16:45

場所：石川県政記念しいのき迎賓館(金沢市広坂)

■基調講演

「しいのき迎賓館と県庁舎設計を通して考える」

講師：箆島 亮(山下設計九州支社兼設計本部長)

■基調対談

「しいのき迎賓館を中心とした周辺環境整備」

箆島 亮(山下設計九州支社兼設計本部長)

蜂谷俊雄(金沢工大教授、本賞北陸地区審査委員長)

伊勢みずほ(フリーアナウンサー、同審査委員)

■参加者：81名(学生、地方公共団体 他)

■同時開催展示パネル内容

- ・金沢営繕事務所の事業・施策の取組状況
- ・歴代の公共建築賞の受賞作品紹介
- ・石川県、金沢市の大型建築事業(共催)
- ・パネル、完成模型、パンフレット



基調講演：箆島 亮氏

【公共建築パネル展】

日時：平成28年12月3日(土)～4日(日)

9:30～17:00

場所：TOYAMAキラリ ギャラリー2(富山市西町)

■展示パネル内容

- ・金沢営繕事務所の事業・施策
- ・歴代の公共建築賞の受賞作品紹介
- ・富山県、富山市、高岡市、氷見市、黒部市及び小矢部市の大型建築事業(共催)
- ・パネル、完成模型、パンフレット

■来場者：約210名

※今回共催の地方公共団体から貴重なパネル、完成模型などを提供いただき、一般の方々に公共建築を広くPRすることができました。ご協力ありがとうございました。(金沢営繕事務所)

平成28年度 営繕工事安全連絡会議（新潟地区）を開催

（営繕部保全指導・監督室）

北陸地方整備局営繕部は、「平成28年度営繕工事安全連絡会議（新潟地区）」を開催しました。

本会議において、現在工事中の受注者の現場担当者に対して、昨今の建設労働災害の事故発生状況や課題等を紹介し、工事中の安全対策についての意見交換を行い、建設労働災害の撲滅と安全意識の高揚を図りました。

【安全連絡会議の内容】

1.新潟地区の開催状況

開催日 平成28年11月7日（月）

開催地区 新潟県

開催会場 新潟美咲合同庁舎1号館 合同会議室

参加者 営繕工事受注関係者

2.事故防止のための講話

新潟会場では、新潟労働局並びに新潟東警察署の協力得て、事故防止について下記の講話をいただきました。

「建築工事にかかる労働災害防止について」

新潟労働局労働基準部健康安全課

中村産業安全専門官

「交通安全及び道路交通法にかかる

車両制限について」

新潟県新潟東警察署交通第一課

小海指導係長



講話：新潟労働局 中村産業安全専門官



講話：新潟東警察署 小海指導係長

3.営繕工事の事故防止対策

営繕工事事故重点事項として、足場からの墜落事故防止対策や屋根工事等に係る安全対策、工事における発生事故等を踏まえた安全対策など説明しました。

4.各工事現場における安全への取組紹介

現在工事中の受注者から、安全衛生管理及び労働災害防止における取り組みの紹介がありました。

安全パトロールにおいて、女性のパトロールを実施し、女性目線からの職場環境改善に取り組んでいる事例や、現場出入口が明確に第三者にわかる様に反射式看板設置し、悪天候時でも目立つようにパトランプ付看板の設置などの安全対策を講じた事例の紹介があり、その後、意見交換を行いました。



各工事現場での取り組み紹介

平成28年度 国土交通省国土技術研究会に参加

～アカウントビリティ部門で営繕部職員が発表～

(営繕部 計画課)

国土技術研究会は、住宅・社会資本整備行政に係る技術課題、中長期的に又は緊急的に取り組むべき技術課題等について、本省、地方整備局、北海道開発局、地方航空局、特別の機関、試験研究機関等が連携を図りつつ調査・研究を行い、議論を重ねることにより、住宅・社会資本整備に関する技術の向上と行政への反映を図ることを目的として毎年開催されています。

本研究会のプログラムは、指定・自由課題の発表とポスターセッション等で構成され、各地方整備局の技術研究会における受賞論文のうち推薦されたものについても発表することになっています。

今年度、全国の地方整備局営繕部の中で唯一、北陸地方整備局営繕部職員の論文が推薦され、アカウントビリティ部門において発表しました。

アカウントビリティ部門は、行政に関する効果的な広報、プレゼンテーションスキルの向上が

目的とされており、他部門とは発表方法が異なります。(H25年度から現方式に変更)

まず初めに、発表者が5分間以内でアカウントビリティに関する取組を発表し、それに対する質疑応答、その後、発表者5名程度ずつにグルーピングされ、審査員、会場聴講者が加わり15分間程度のディスカッションが行われます。

今回のディスカッションでは、取組の工夫点、反省点、PRポイント等について、プレス対応や住民等への説明を想定して、専門的知識の無い人にもわかりやすく各自の考えを述べることという審査員からの指示のもと、活発な意見交換が行われました。

今回、アカウントビリティ部門に参加した各発表者の取組とその説明対応をとおして、行政にとって必要不可欠な国民への説明責任を果たすための工夫等を知る貴重な機会となりました。

平成28年度 国土技術研究会
平成28年11月1日～2日(会場:中央合同庁舎2号館)

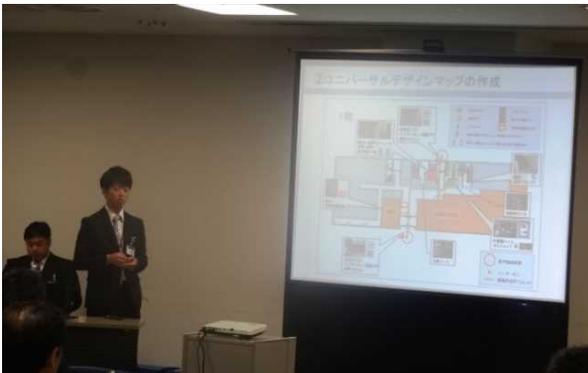
●発表概要(アカウントビリティ部門)

(題名)

「官庁施設におけるユニバーサルデザインの取組と情報発信について」

(発表者)

営繕部保全指導・監督室 服部 駿太



【発表風景(アカウントビリティ部門)】

(論文概要)

国土交通省では、官庁施設を整備するにあたり、企画、設計、施工、運用の各段階において、高齢者や障がい者、有識者からのご意見をいただき、それを可能な限り整備に反映させている。また、当該施設に反映できなかったものについては、後続の施設に反映するとともに、既存施設の改修工事等においても考慮している。

しかしながら、官庁施設がそれらの設備を備えていることについての情報発信は十分とは言い難い。

そこで、わかりやすい館内設備マップを作成し、入居官署のHPに公表するとともに、地方公共団体や関係団体、NPO等と連携し、地方公共団体等が作成している既存のバリアフリーマップ等に国の最新情報も加えていただき、地図情報アプリ等の活用も検討しつつ情報発信の取組を進めている。

その効果は、高齢者等が付添いなしでも安心して施設を利用していただくためのツールになるほか、熊本や東北の地震の教訓を踏まえ、災害時における避難場所の設備情報把握等、緊急時利用のためにも有用であるということを論じている。

<研究会概要等(<http://www.mlit.go.jp/chosahokoku/giken/>)>

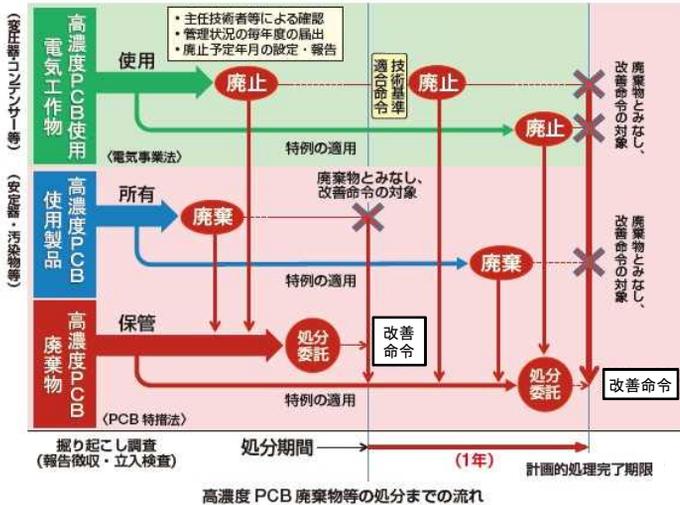
ポリ塩化ビフェニル(PCB)廃棄物の期限内処理に向けて

(営繕部 技術・評価課&保全指導・監督室)

平成28年8月から施行されたポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法（PCB特措法）の改正に合わせ、使用中の変圧器やコンデンサー等の高濃度PCB使用製品についても処分期間内に使用を終えて処分するよう、電気事業法の「電気設備に関する技術基準を定める省令」等が改正されました。

1.PCB廃棄物の処分期間

高濃度・低濃度PCB廃棄物の処分期間及び高濃度PCB廃棄物の処分までの流れは下図のようになります。



2. PCB廃棄物等の掘り起こし調査

現在、都道府県・市（新潟市、富山市、金沢市等）では、PCB廃棄物を保有する蓋然性の高い事業者を対象にして未届出のPCB廃棄物等の掘り起こし調査を実施しています。PCB特措法の改正により、都道府県・市による掘り起こし調査に関して、報告徴収や立入検査等の権限が強化されました。

また、使用中の高濃度PCB使用電気工作物についても、電気事業法の「主任技術者制度の解釈及び運用」が改正され、**電気主任技術者等が毎年度高濃度PCB使用電気工作物であるかを確認することが義務付けられました。**安定器を含め、高濃度PCBが使用された電気機器や製品、廃棄物を保有していないかどうか、再度事業所内を確認するとともに、再度確認をお願いします。

北陸地方整備局管内の高濃度PCB廃棄物の地域別処分期間等

JESCOの処理施設	高濃度PCB廃棄物の種類	保管の場所の所在する区域	処分期間	計画的処理完了期限
北海道(北海道室蘭市)	廃PCB等、廃変圧器、廃コンデンサー等	新潟県、富山県、石川県、山形県、福島県、長野県、福井県、岐阜県	平成34年(2022年)3月31日まで	平成35年(2023年)3月31日まで
豊田(愛知県豊田市)				
北海道(北海道室蘭市)	上記以外の高濃度PCB廃棄物(安定器、汚染物等、3kg未満の廃変圧器等及びこれらの保管容器)	新潟県、富山県、石川県、山形県、福島県、長野県、福井県	平成35年(2023年)3月31日まで	平成36年(2024年)3月31日まで
北九州(北九州市若松区)		岐阜県	平成33年(2021年)3月31日まで	平成34年(2022年)3月31日まで



3. PCB廃棄物等の処分等に係る手続き

(1) 電気事業法関係

電気事業法の届出様式は経済産業省ホームページをご参照ください。

http://www.meti.go.jp/policy/energy_environment/ka_nkyokeiei/pcb/downloadfiles/02dennannka.pdf

(2) PCB特措法関連

PCB特措法に基づく記入要領、記載例は環境省ホームページをご参照ください。

<http://www.env.go.jp/recycle/poly/todokede/index.html>

公共建築に関する情報発信

(営繕部 保全指導・監督室)

■発注情報メール配信のサービス内容

北陸地方整備局営繕部及び北陸地方整備局金沢営繕事務所では、営繕工事・業務の最新の調達情報をいち早く入札参加を検討される方々にお届けしていくため「**官庁営繕部発注情報メール配信サービス**」を**試行**しています。公告日に登録されたメールアドレスに配信されます。**無料でご利用**いただけますので、是非ご登録ください。

1. 対象となる発注機関と工事・業務種別

①発注機関

国土交通省大臣官房官庁営繕部、
北陸地方整備局営繕部、金沢営繕事務所、
北海道開発局営繕部、
各地方整備局営繕部及び営繕事務所、
沖縄総合事務局開発建設部営繕課

②工事種別

建築、電気設備、暖冷房衛生設備、
機械設備（エレベーター）等

③業務種別

設計、工事監理、調査検討、
測量・敷地調査

2. 登録方法

北陸地方整備局営繕部のホームページにアクセスし、表示に従い登録を行ってください。

PC、タブレット、スマートフォン、携帯電話いずれの端末からも登録できます。登録は無料です。

<http://www.hrr.mlit.go.jp/eizen/index.html>



3. メール配信される発注情報

①工事名称または業務名称

②工事種別、工事の等級区分、施工場所または業務種別

③技術資料（工事）、参加表明書（業務）の提出締切日となります。

なお、正式な内容は入札情報サービスにて、ご確認下さい。
<http://www.i-ppi.jp>

■工事・業務発注見通し及び入札公告に

関する工事概要について

北陸地方整備局営繕部及び北陸地方整備局金沢営繕事務所における工事・業務発注見通し及び工事概要は下記ホームページに掲載しています。

北陸地方整備局営繕部

<http://www.hrr.mlit.go.jp/eizen/index.html>

北陸地方整備局金沢営繕事務所

<http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawaeizen/>

■ 公共建築相談窓口

北陸地方整備局営繕部では、公共建築に関する技術基準の運用等、公共建築に関する技術的な相談を幅広く受け付けるための「公共建築相談窓口」を設置しています。

この窓口では、公共建築工事の円滑な施工確保の取組として、公共建築工事の予定価格設定等に関する相談の受付も行っています。

お気軽にご相談ください。

○ 北陸地方整備局営繕部計画課

TEL: 025-280-8880 (内線5153)

(保全関連は内線5512)

FAX: 025-370-6504

e-mail: pb-soudan@pop.hrr.mlit.go.jp

メールでのお問い合わせの場合は、機関名または会社名と担当者等をご記入下さい。

○ 北陸地方整備局金沢営繕事務所技術課

TEL: 076-263-4585

FAX: 076-231-6369

■ 官庁営繕の「Q&A」

国土交通省では、これまでに寄せられた相談を踏まえ、主な相談と回答をまとめた「Q&A」、公共建築の品質確保を図るための技術基準及びマニュアルを官庁営繕部ホームページに掲載しています。

http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk6_000063.html

■ 出前講座

北陸地方整備局では、行政の透明性の向上と国民との対話を重視したコミュニケーション型国土行政の推進に向けた種々の取り組みのひとつとして、職員が直接、国土交通省の施策内容や地域の方向性等について話をさせていただくとともに、地域の各種ニーズや生の声を聞かせていただき、行政にも反映させていくために、『出前講座』を実施しています。

『出前講座』の利用方法や講座のメニュー等を下記ホームページに掲載しています。

お気軽にご相談ください。

<http://www.hrr.mlit.go.jp/tiiki/manaviva/index.html>

■ 施工管理技術検定試験合格証明書の申請手続きについて

合格証明書の申請手続きについて、北陸地方整備局営繕部ホームページに掲載していますので、ご覧下さい。

<http://www.hrr.mlit.go.jp/eizen/index.html>

北陸地方整備局営繕部は、新潟県、富山県及び石川県在住の方の下記資格について、再交付・書き換え窓口となっています。

資格名	受付担当課	電話番号
建築施工管理技士		
電気工事施工管理技士	営繕部 計画課	025-280-8880 (代表)
管工事施工管理技士		

えいぜん通信@北陸 平成29年1月発行



北陸地方整備局営繕部

編集:

ホームページアドレス

北陸地方整備局金沢営繕事務所

ホームページアドレス

TEL025-280-8880(代表) FAX 025-370-6504

<http://www.hrr.mlit.go.jp/eizen/index.html>

TEL076-263-4585(代表) FAX 076-231-6369

<http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawaeizen/>

『えいぜん通信@北陸』は、公共建築に関する取り組みを情報発信しています。

北陸地方整備局のホームページで北陸地方整備局営繕部及び金沢営繕事務所の業務全般及び『えいぜん通信@北陸』を紹介しております。どうぞ、ご覧ください。